

株式会社メニコン

2025年3月期 第3四半期決算説明資料

証券コード：7780

2025年2月14日

- I 2025年3月期第3四半期 連結業績概要
- II 2025年3月期通期 連結業績予想と見通し



I .2025年3月期第3四半期 連結業績概要

2025年3月期第3四半期 連結業績サマリー

(百万円)	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	前年同期比
売上高	87,401	91,509	+4.7%
売上原価	41,563	42,069	+1.2%
(原価率)	47.6%	46.0%	(△1.6pt)
売上総利益	45,837	49,439	+7.9%
販売費及び一般管理費	38,308	40,870	+6.7%
(売上高販管費率)	43.8%	44.7%	(+0.9pt)
営業利益	7,529	8,569	+13.8%
(売上高営業利益率)	8.6%	9.4%	(+0.8pt)
EBITDA*	13,366	14,654	+9.6%
(EBITDAマージン)	15.3%	16.0%	(+0.7pt)
経常利益	7,269	8,198	+12.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,576	5,115	+11.8%

* EBITDAは営業利益、減価償却費、のれん償却額等から算出

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認ください。

<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html>



2025年3月期第3四半期 連結業績 決算のポイント

1DAYは国内での販売拡大により伸長、オルソ関連は中国での景気停滞や競争環境激化等により横ばい
将来の成長のための投資実行するも、国内価格改定効果や販管費コントロールにより利益伸長

売上高 915億円 **前年同期比** +4.7%

ビジョンケア事業 **売上高** 845億円 **前年同期比** +5.5% (現地通貨建による伸長 +3.7%)

↑ 1DAY: カス会員数増加/国内販売拡大、国内価格改定による増収効果 → オルソ関連: 中国での競争環境激化等で横ばい

ヘルスケア・ライフケア事業 **売上高** 69億円 **前年同期比** △4.4% (現地通貨建による伸長 △4.9%)

↑ 国内での価格改定効果、米国への販路拡大 ↓ 中国での食品事業規模縮小

売上総利益 494億円 **前年同期比** +7.9% • ↑ 1DAY売上拡大による増収効果, 国内での価格改定による収益性向上

営業利益 85億円 **前年同期比** +13.8% • 将来の成長のための投資 (新工場、人的補強、研究開発) を強化

EBITDA 146億円 **前年同期比** +9.6% • ↑ 国内価格改定効果や販管費コントロールにより利益伸長

資金調達 普通社債発行及びシンジケートローン実施 → 2025年1月 転換社債230億円の償還に充当



売上高の内訳

(百万円)	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	前年同期比
売上高	87,401	91,509	+4.7%
ビジョンケア	80,126	84,556	+5.5%
1DAY	21,186	23,013	+8.6%
国内_メルスプラン*1	15,430	16,818	+9.0%
国内_物販*2	3,482	4,093	+17.5%
海外	2,273	2,101	△7.6%
オルソケラトロジー関連	11,301	11,263	△0.3%
オルソK (グローバル)	4,389	4,545	+3.6%
レンズケア (アジア)	6,911	6,718	△2.8%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	47,638	50,278	+5.5%
メルスプラン*1	19,286	20,559	+6.6%
コンタクトレンズ	20,497	21,539	+5.1%
レンズケア (アジア以外)	7,854	8,179	+4.1%
ヘルスケア・ライフケア	7,274	6,952	△4.4%

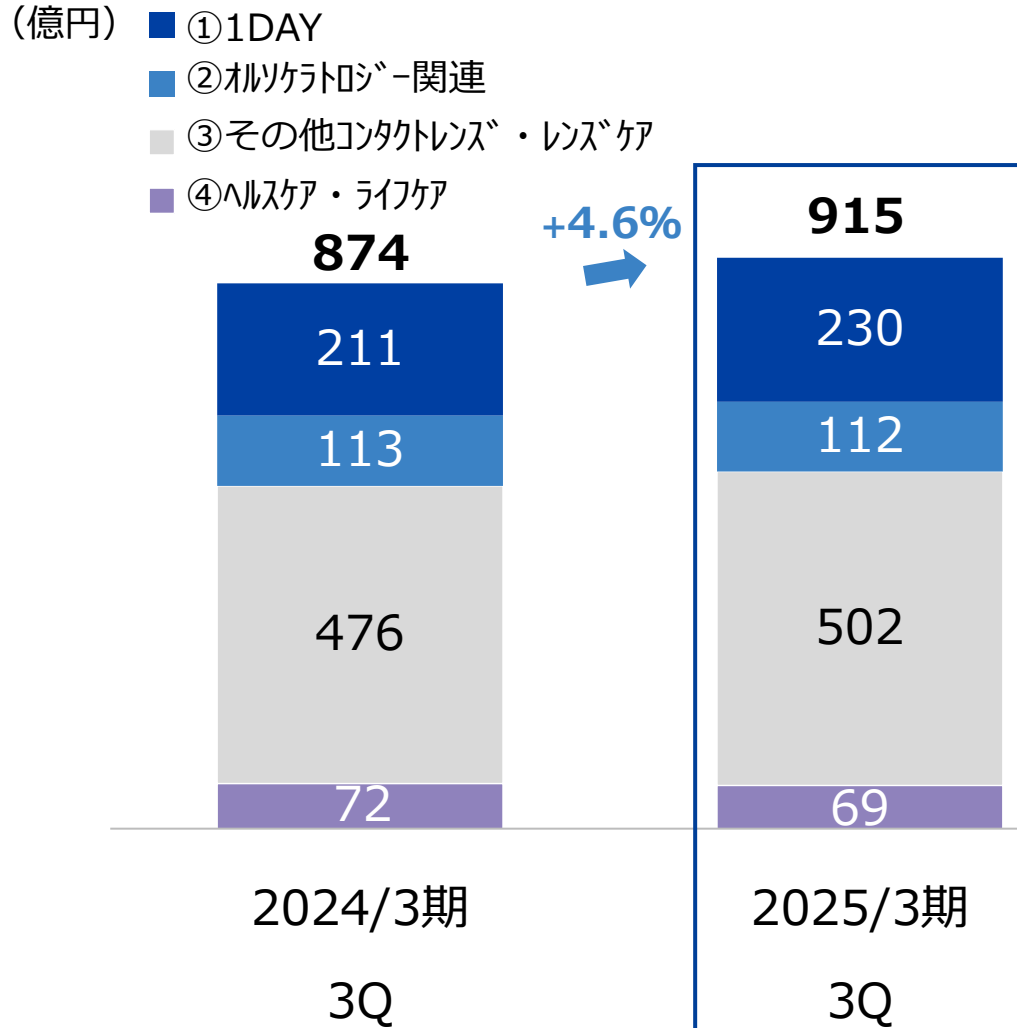
*1 2025/3期3Q メルスプラン売上高：37,377百万円（前年同期比+7.7%）

*2 「物販」はコンタクトレンズ・レンズケアを指す

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認ください。5

<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html>

国内での価格改定効果に加え、国内での1DAY及び欧州での1MONTH販売拡大により伸長



ビジョンケア (前年同期比：+44.2億円)

① 1DAY (前年同期比：+18.2億円)

- ・ 国内を中心とした1DAY販売拡大
- ・ 国内での価格改定効果*(+10.2億円)

② オルソケラトロジー関連 (前年同期比：△0.3億円)

- ・ 国内/シンガポール/韓国でのオルソK販売拡大
- ・ 中国での競合環境激化等による影響

③ その他コンタクトレンズ・レンズケア (前年同期比：+26.3億円)

- ・ 国内での価格改定効果*(+21.7億円)
- ・ 欧州での1MONTH販売拡大

④ ヘルスケア・ライフケア (前年同期比：△3.2億円)

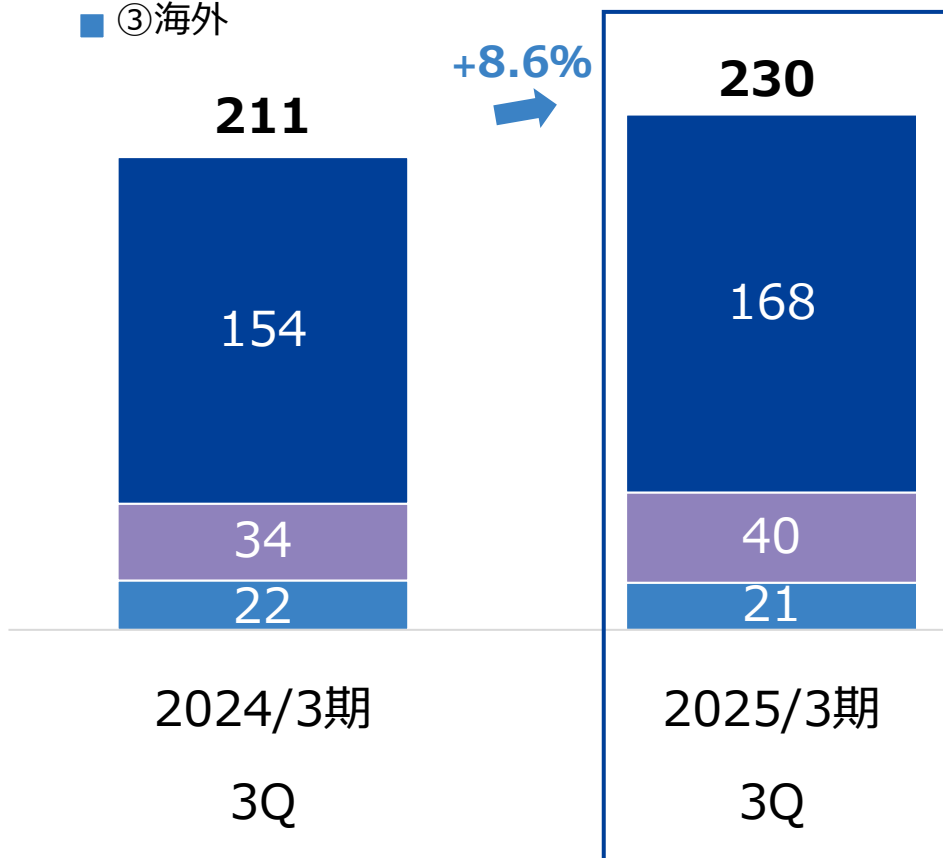
- ・ 国内での価格改定効果や米国への販路拡大で横ばい

* 国内での価格改定効果合計：+32.0億円

1DAY売上高（売上高の内訳）

国内での価格改定効果に加え、1DAYのメルスプラン会員数増加及び国内での販売拡大により伸長

(億円) ■ ①国内_メルスプラン
■ ②国内_物販
■ ③海外



1 国内_メルスプラン（前年同期比：+13.8億円）

- ・ 供給量増加により会員数増加
- ・ 価格改定効果(+8.9億円)

2 国内_物販（前年同期比：+6.1億円）

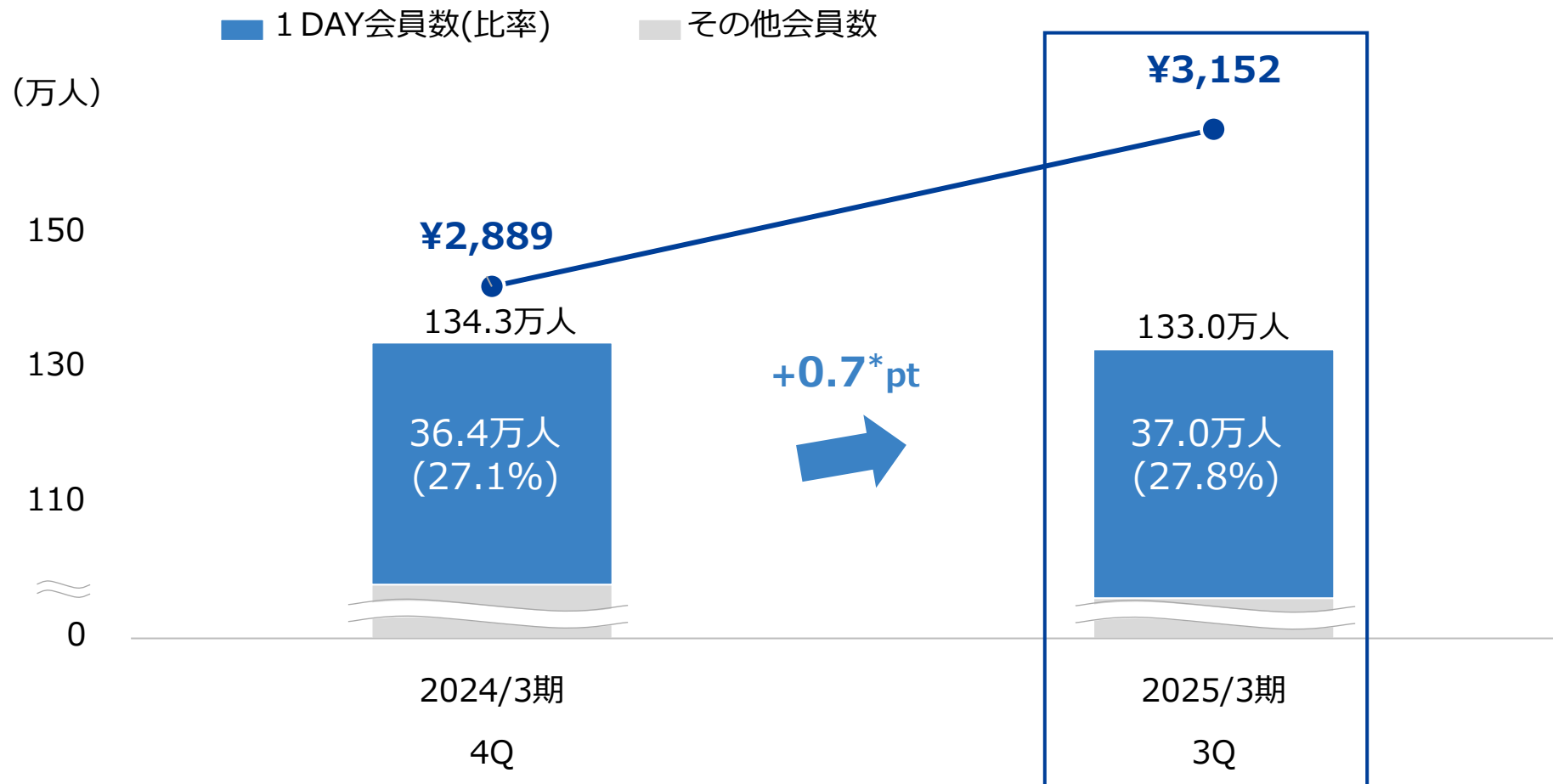
- ・ 供給量増加により販売拡大
- ・ 価格改定効果(+1.3億円)

3 海外（前年同期比：△1.7億円）

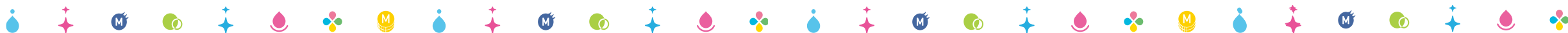
- ・ 需給ひっ迫による販売数量のコントロール実施
- ・ 中国での新たな販売先への切り替えに伴う一時的な販売減少



高単価の1DAYやその他会員の遠近両用タイプの構成比率上昇及び価格改定により平均月額費用が上昇

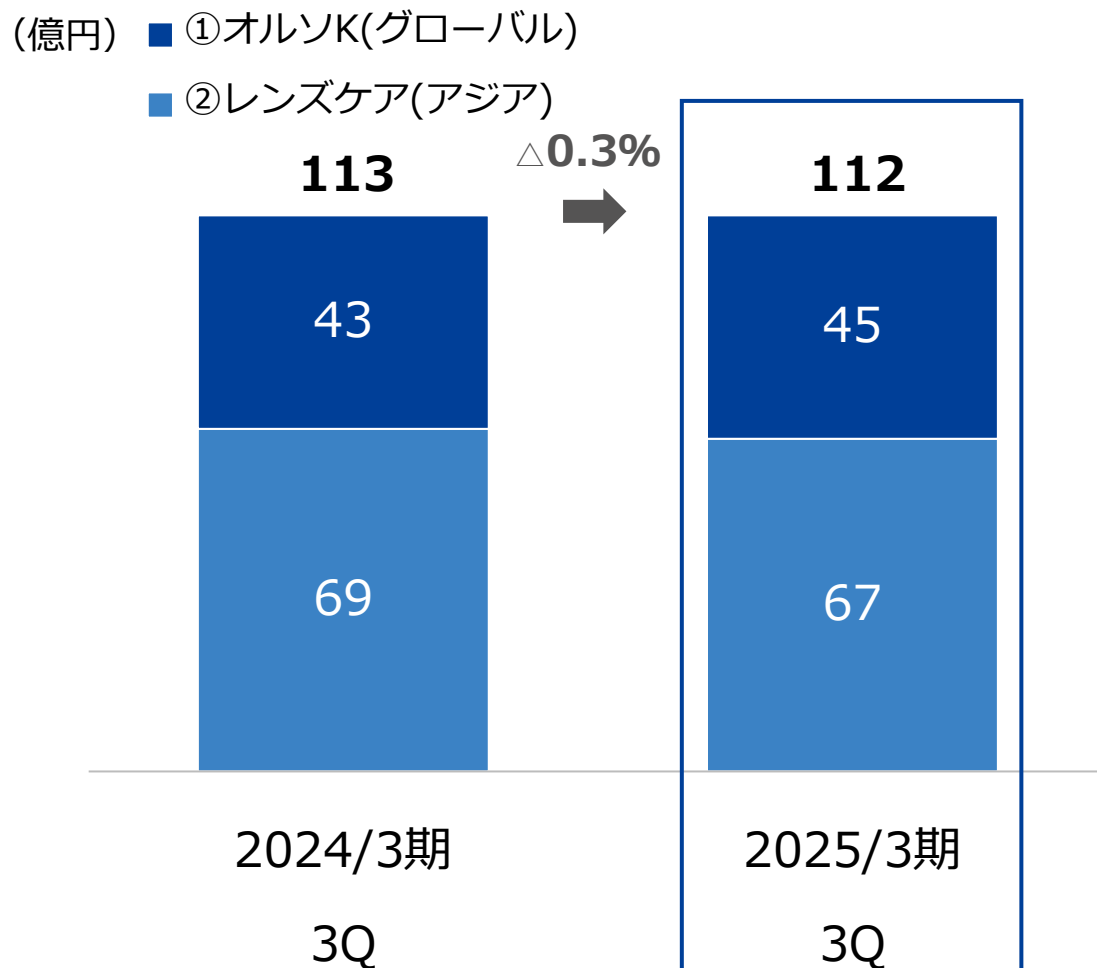


* MiruファーストコンタクトでのMagic会員を含めると+0.8pt



オルソケラトロジー関連売上高（売上高の内訳）

国内/シンガポール/韓国で販売拡大する一方、中国での景気停滞影響や競争環境激化等により横ばい



① オルソK(グローバル) (前年同期比：+1.5億円)

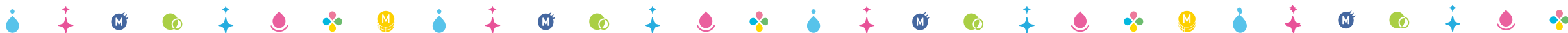
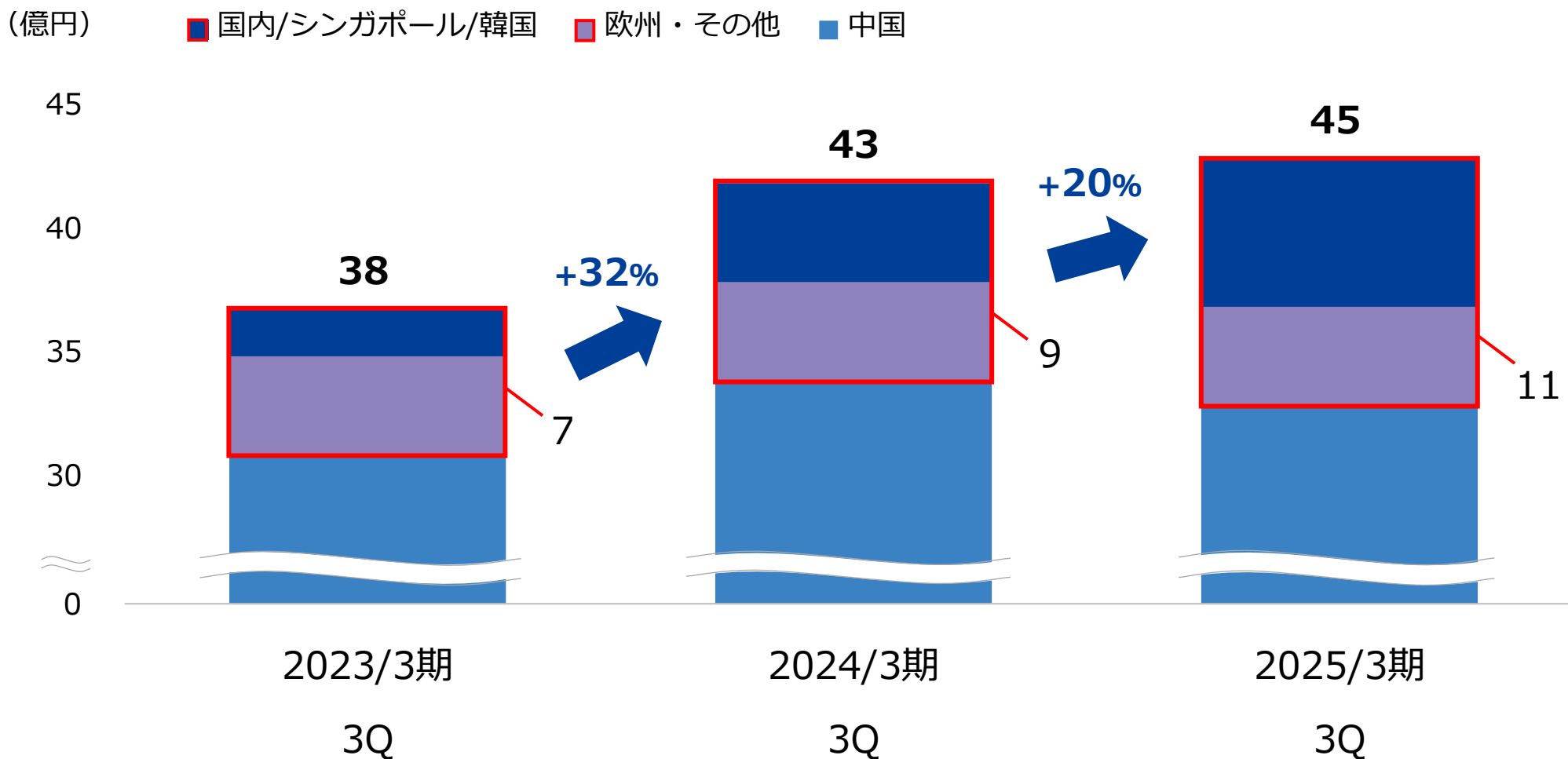
- ・ 国内：当社取扱施設拡大 (+1.0億円)
- ・ シンガポール/韓国：販売拡大 (+0.6億円)
- ・ 中国：景気停滞による代替製品の普及等により販売減少 (△0.4億円)

② レンズケア(アジア) (前年同期比：△1.9億円)

- ・ 東南アジア：販売会社のM&A効果 (+0.4億円)
- ・ 中国：景気停滞影響及び競争環境激化の長期化による販売単価の低下 (△2.3億円)

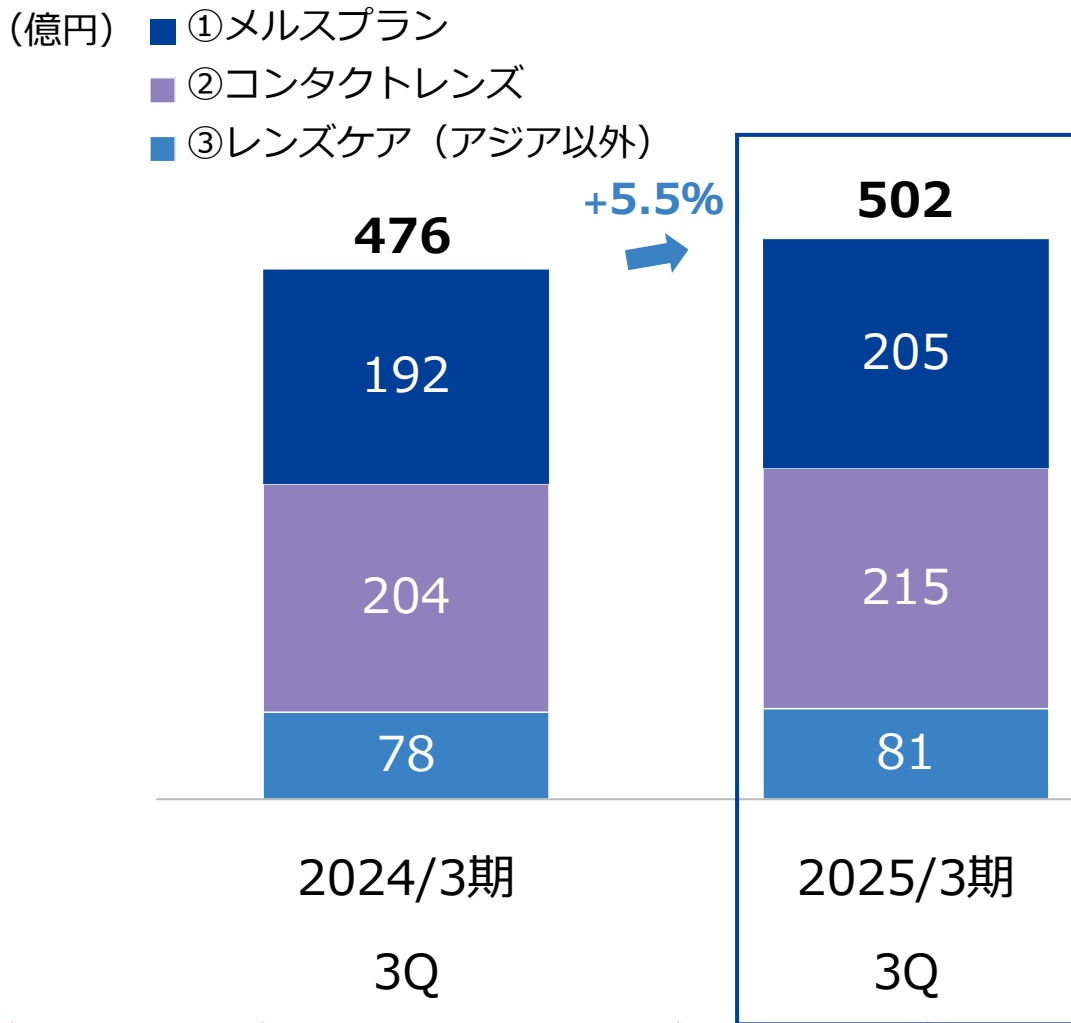
オルソケラトロジーレンズ売上高推移

当社製品の取扱施設拡大や市場拡大により、国内/シンガポール/韓国を中心に大幅な伸長を継続



その他コンタクトレンズ・レンズケア売上高（売上高の内訳）

国内での価格改定効果に加え、欧州での1MONTH販売拡大等により伸長



① メルス（前年同期比：+12.7億円）

- 会員数減少するも価格改定効果(+18.4億円)で伸長
- 高単価の遠近両用タイプの会員数増加

② コンタクトレンズ（前年同期比：+10.4億円）

- 欧州での販売ネットワーク拡大による1MONTH販売拡大
- 国内での価格改定効果(+3.1億円)

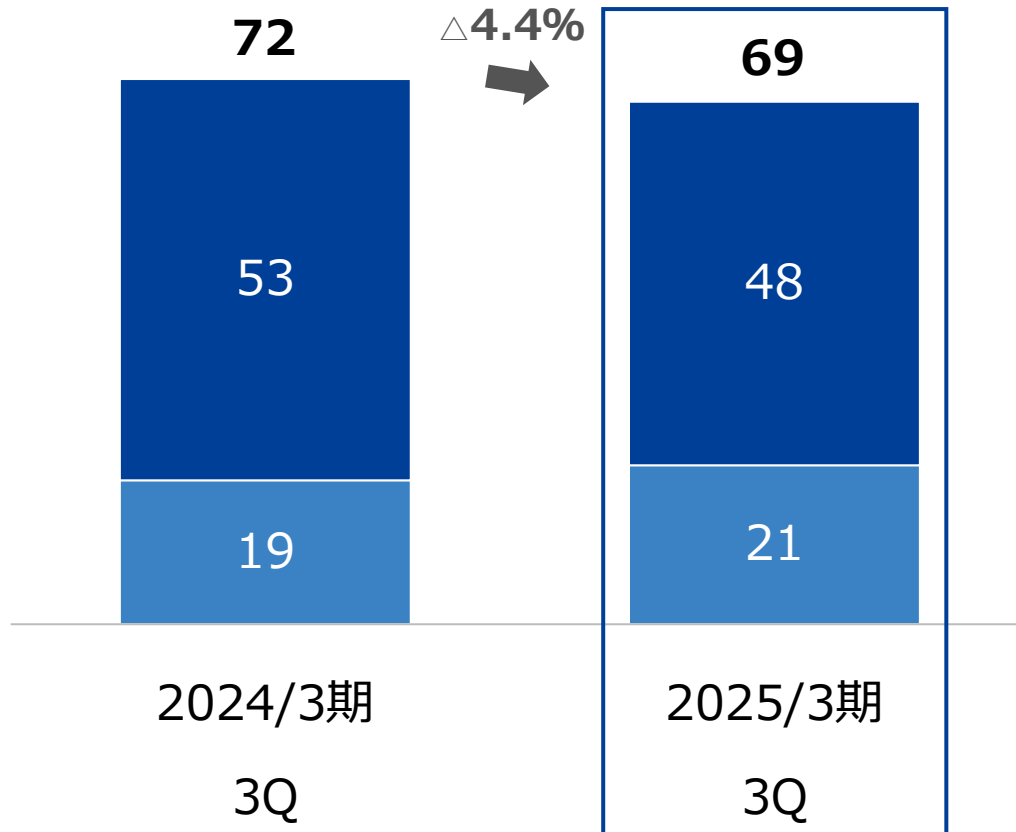
③ レンズケア（アジア以外）（前年同期比：+3.2億円）

- 北米での販売拡大
- 国内での高単価商品の販売拡大

ヘルスケア・ライフケア売上高

中国での食品事業規模縮小する一方、国内での価格改定効果や米国への販路拡大で横ばい

(億円) ■ ①食品事業
■ ②その他



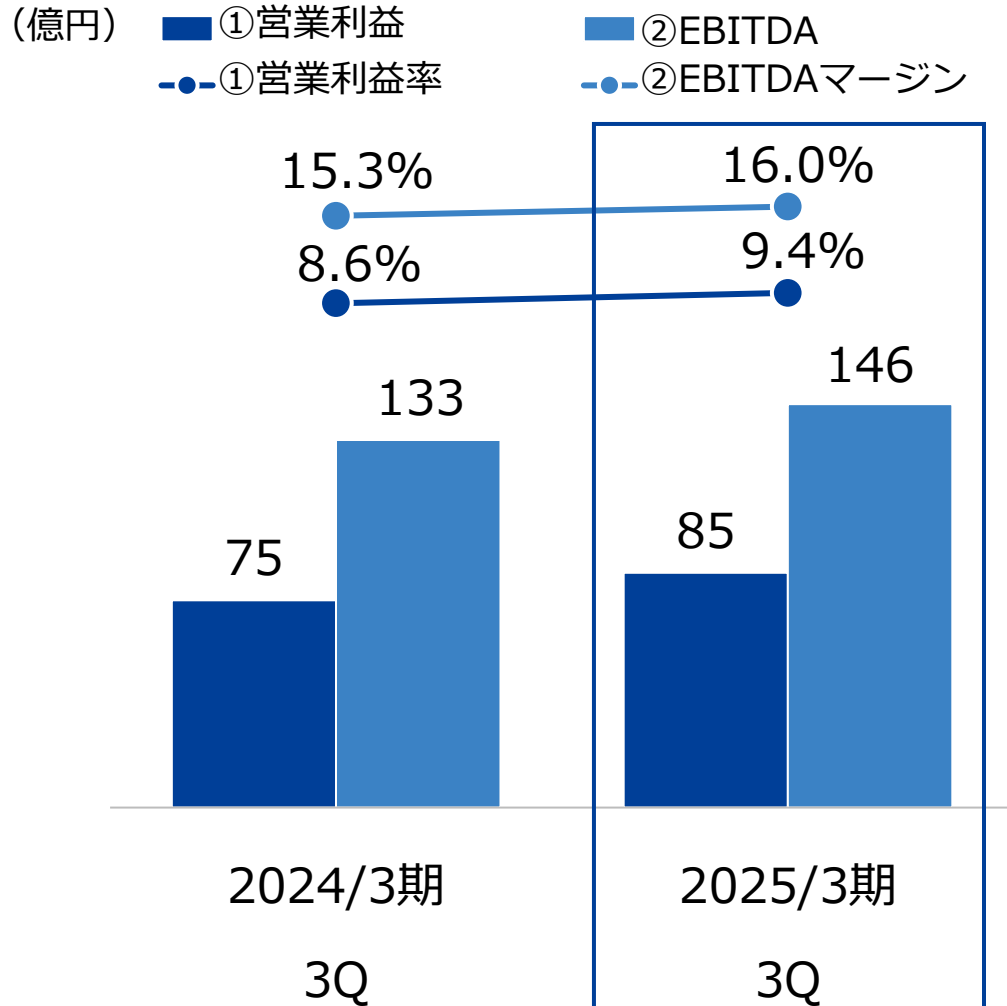
1 食品事業 (前年同期比：△4.9億円)

- 中国：日本からの輸入食品事業の規模縮小
- 国内：価格改定効果等により伸長
- 米国：販路拡大

2 その他 (前年同期比：+1.6億円)

- 環境関連事業や動物医療事業等の売上高増加

将来の成長のための投資実行する一方、国内価格改定効果や販管費コントロールにより増益



1 営業利益 (前年同期比：+**10.3**億円)
営業利益率 (前年同期比：+**0.8**pt)

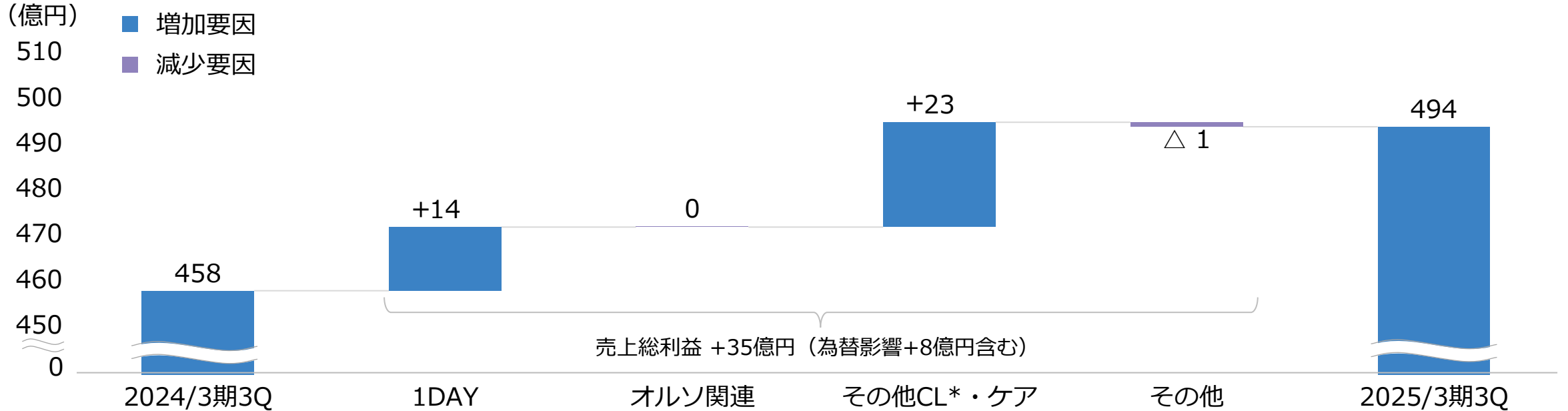
- 売上総利益：+**36.0**億円 (458億円→**494**億円)
1DAY等の販売拡大、国内での価格改定効果
- 販管費：+**25.6**億円 (383億円→**408**億円)
成長投資 (新工場、人的補強、研究開発) を強化しつつ、販管費コントロール

2 EBITDA (前年同期比：+**12.8**億円)
EBITDAマージン (前年同期比：+**0.7**pt)

- 減価償却費：+**1.4**億円 (55.3億円→**56.8**億円)
1DAY投資等により増加

前年実績と今回実績の増減分析（売上総利益）

国内1DAY及び欧州1MONTHの販売拡大等、中国オルソ関連以外のビジョンケア事業は堅調に推移



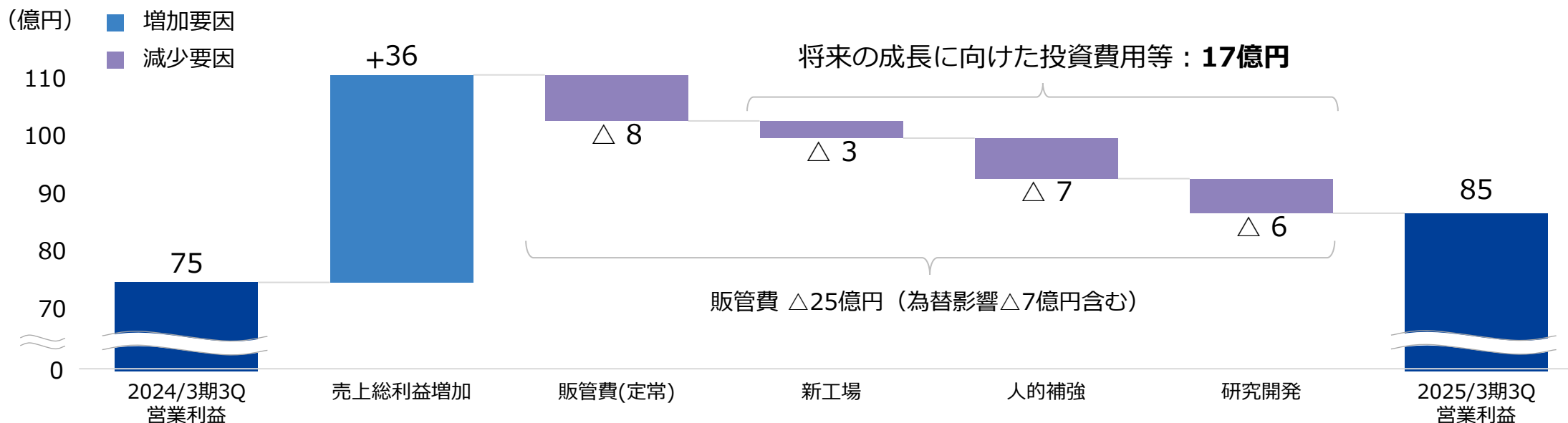
・ 主な増減理由 ※為替影響含む

項目	
1DAY	メルスプラン1DAY会員数増加や国内での物販拡大、価格改定効果
オルソ関連	国内/シンガポール/韓国で販売拡大する一方、中国での競争環境激化等により横ばい
その他CL*・ケア	欧州での1MONTH販売拡大、国内での価格改定効果
その他	ヘルスケア・ライフケアでの売上減少による影響等

* コンタクトレンズの略称

前年実績と今回実績の増減分析（営業利益）

将来の成長のための投資実行する一方、販管費コントロールにより増益



・ 販管費(定常)の主な内訳 ※為替影響含む

項目	金額 (億円)
事務委託費	△3
賃借料	△2

・ 将来の成長に向けた投資費用の主な内訳 ※為替影響含む

項目	金額 (億円)
新工場	△3
人的補強	△7
研究開発	△6



Ⅱ.2025年3月期通期 連結業績予想と見通し

売上高予想の進捗状況と4Qの見通し

売上高内訳予想は変更なし、4Q見通しは以下の通り

- ・ 1DAY、その他CL・ケア：国内は需要期およびラインアップ拡充、
海外は新規取引開始や取り扱い商品増加により販売拡大を見込む
- ・ オルソケラトロジー関連：中国の競争環境悪化により減速を見込む

(百万円)	2025/3期 3Q実績	2025/3期 予想	進捗率
売上高	91,509	122,700	74.6%
ビジョンケア	84,556	114,100	74.1%
1DAY	23,013	31,600	72.8%
メルスプラン	16,818	23,000	73.1%
国内物販	4,093	5,500	74.4%
海外	2,101	3,100	67.8%
オルソケラトロジー関連	11,263	14,500	77.7%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	50,278	68,000	73.9%
ヘルスケア・ライフケア	6,952	8,600	80.8%

(参考) 2025/3期のメルスプラン売上高として、500億円を予想
2025/3期3Qのメルスプラン売上高は373億円 (進捗率74.8%)



売上高予想の前年対比

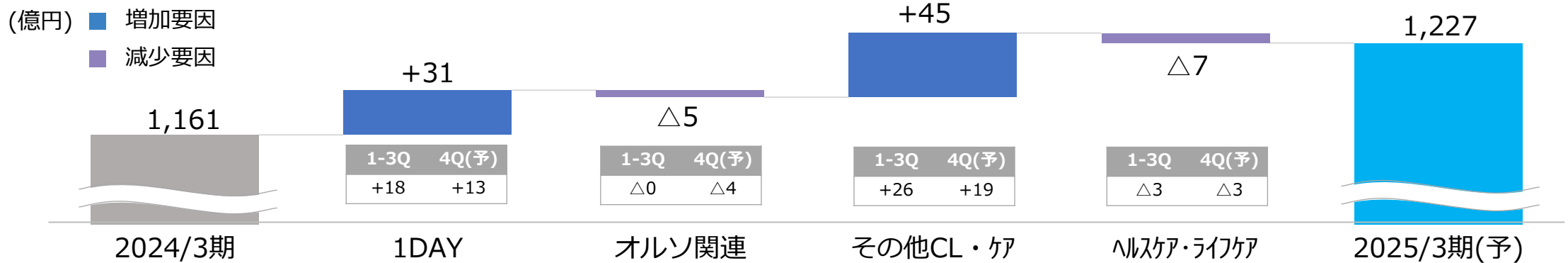
(百万円)	2024/3期 実績	2025/3期 予想	YoY
売上高	116,192	122,700	+5.6%
ビジョンケア	106,887	114,100	+6.7%
1DAY	28,429	31,600	+11.2%
メルスプラン	20,740	23,000	+10.9%
国内物販	4,711	5,500	+16.7%
海外	2,977	3,100	+4.1%
オルソケラトロジー関連	15,001	14,500	△3.3%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	63,456	68,000	+7.2%
ヘルスケア・ライフケア	9,304	8,600	△7.6%

(参考) 2025/3期のメルスプラン売上高として、500億円を予想
2024/3期のメルスプラン売上高は464億円 (YoY +7.6%)



今後の売上高見通し（前年対比）

供給量増加や国内での価格改定による1DAY拡大、オルソ関連は中国減速・その他地域で普及拡大を予想



項目	4Qの見通し（前年対比）
1DAY	全体：○供給量増加（シリコン素材1DAY：2023年11月に新ライン稼働） 国内：○国内販売先の拡大、商品ラインアップ拡充、価格改定効果 海外：○アジア販売会社のM&A効果 △中国での新たな販売先への切り替えに伴う一時的な販売減少
オルソ関連	国内：○普及拡大 海外：○アジア諸国で普及拡大 △中国での同業他社増加/代替品の台頭による競争環境の悪化によるオルソK販売量減少、レンズケア販売減少、販売単価の低下
その他CL・ケア	国内：○高付加価値商品（マルチフォーカス、定期交換型ハードレンズ等）の販売拡大 過酸化水素タイプレンズケアの販売拡大、価格改定効果 海外：○アジア地域販売会社のM&A効果、欧州既存量販店での取り扱い商品の増加

連結業績予想の進捗状況と4Qの見通し

連結業績予想は変更なし、4Q見通しは以下の通り

- ・ 営業利益：国内需要期における販促活動実施、研究開発費等の計上を見込むが利益は確保
- ・ 当期純利益：CB償還に伴う新株予約権戻入益（特別利益）の計上を見込む

(百万円)	2025/3期 3Q実績	2025/3期 予想	進捗率
売上高	91,509	122,700	74.6%
売上原価	42,069	57,800	72.8%
(原価率)	46.0%	47.1%	---
売上総利益	49,439	64,900	76.2%
販売費及び一般管理費	40,870	54,900	74.4%
(売上高販管費率)	44.7%	44.7%	---
営業利益	8,569	10,000	85.7%
(売上高営業利益率)	9.4%	8.1%	---
EBITDA	14,654	19,600	74.8%
(EBITDAマージン)	16.1%	16.0%	---
経常利益	8,198	9,500	86.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,115	7,000	73.1%

* 2024/3期における実勢レート
 EUR：157.7円、USD：145.3円、CNY：19.9円
 2025/3期3Qにおける実勢レート
 EUR：165.1円、USD：153.0円、CNY：21.1円
 2025/3期(予想)における前提為替レート
 EUR：159.0円、USD：147.0円、CNY：20.3円

連結業績予想の前年対比

(百万円)	2024/3期 実績	2025/3期 予想	YoY
売上高	116,192	122,700	+5.6%
売上原価	55,181	57,800	+4.7%
(原価率)	47.5%	47.1%	---
売上総利益	61,010	64,900	+6.4%
販売費及び一般管理費	52,058	54,900	+5.5%
(売上高販管費率)	44.8%	44.7%	---
営業利益	8,951	10,000	+11.7%
(売上高営業利益率)	7.7%	8.1%	---
EBITDA	17,048	19,600	+14.9%
(EBITDAマージン)	14.7%	16.0%	---
経常利益	8,225	9,500	+15.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,538	7,000	+54.2%

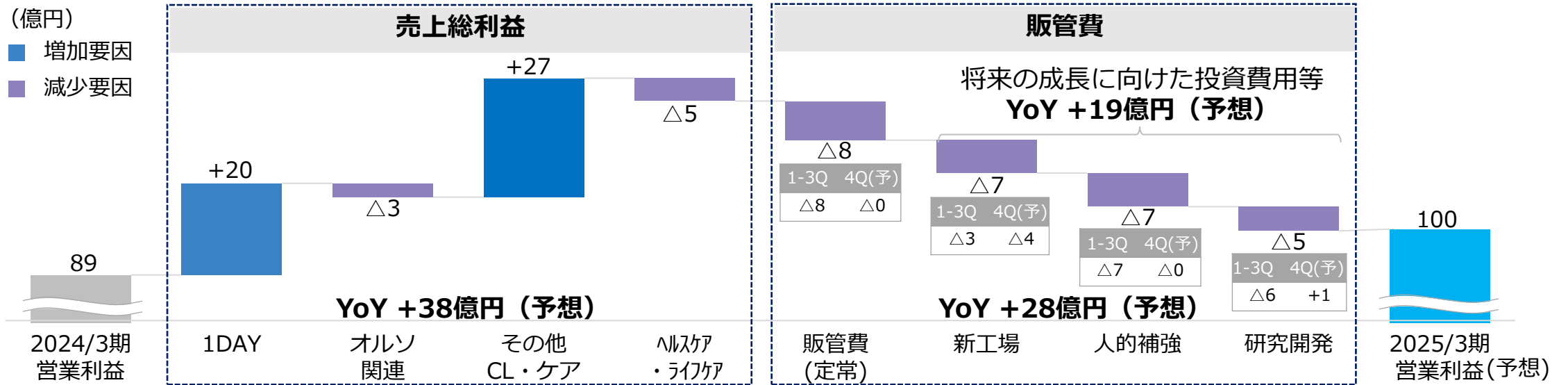
* 2024/3期における実勢レート
 2025/3期3Qにおける実勢レート
 2025/3期(予想)における前提為替レート

EUR : 157.7円、USD : 145.3円、CNY : 19.9円
 EUR : 165.1円、USD : 153.0円、CNY : 21.1円
 EUR : 159.0円、USD : 147.0円、CNY : 20.3円



今後の営業利益見通し（前年対比）

オルソ関連は中国影響受けるも、1DAY販売拡大や国内価格改定により売上総利益の増加を予想
 販管費は将来の成長に向けた費用投下を予定するが、適切にコントロールを実施



項目	4Qの見通し（前年対比）	
売上総利益	売上に応じて増減、国内価格改定効果による上積み	
販管費	定常	適切にコントロール（効果的な使用による利益確保）
	新工場	1DAY新生産拠点であるマレーシア工場の稼働準備（2026/3期3Q以降稼働予定）
	人的補強	前年度程度を見込む
	研究開発	計画通り実施（治験等グローバルでの許認可取得に係る費用の支出を予定）



独自のSMART TOUCHパッケージと地域別の販売戦略により販売拡大

地域別の販売戦略

主な施策

国内	<ul style="list-style-type: none"> 約1,600店舗で展開のメルスプラン 約170店舗のグループ販売店活用
欧州・北米	<ul style="list-style-type: none"> 大手量販チェーンへの販売拡大
アジア	<ul style="list-style-type: none"> グループ販売による販売拡大



- コンタクトレンズデビュー顧客の取り込み（グループ販売店新サービス「Miruファーストコンタクト」導入、**U18キャンペーン実施**）
 - メルス加盟施設の拡大、オンライン相談活用によるメルスプラン入会促進、店舗スタッフの再教育
 - グループ販売店の新規出店/好立地への移転
- 欧州：大手量販チェーンと長期的なパートナーシップ構築、生産能力増強に応じて順次新規取引先候補との契約締結予定
（来期1Qに北微量販チェーンと取引開始予定）
 - 北米：各販売チャネルのニーズに応じた柔軟なOEM供給対応等により取引先を拡大
- 中国：オンラインのコンタクトレンズ専門販売店との提携による自社ブランド育成・販売拡大
（今期4Q取引開始予定）
 - 東南アジア：9月に子会社化した販売会社3社の販売網を活かした販売拡大



オルソKの普及率拡大と複数製品を展開するスペシャリスト企業としての地位確立によるシェア拡大

戦略

<p>オルソK (グローバル)</p>	<p>複数製品 × 多国展開による販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルファオルソK： 高いカスタマイズ性 ・ Menicon Z Night： 高い酸素透過性 ソフトウェアによる処方サポート ・ Menicon Bloom Night： 近視進行抑制用
<p>レンズケア (アジア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数チャネル（医科向け/EC）を活用した販売



主な施策

<p>欧州</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィッティングと販売を手掛ける仏Dencott社を活用した仏での販売拡大(社員教育実施),及び販売国拡大 ・ 認知度向上のための学術活動継続
<p>国内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業体制強化・取り扱い店舗数増加による販売拡大 ・ 近視進行抑制用オルソケラトロジーレンズの開発
<p>アジア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ販社を活かした販路拡大、販促活動強化 ・ 新たなレンズケア用品の開発



オルソ関連は足許は景気影響等により不透明、販管費の効率的使用を進めつつ中長期視点で取り組み実施
 堅調に拡大しているディスプレイザブルCL*¹市場においてECチャネル活用によりシェア拡大を目指す

	市場	中長期施策	進捗状況
オルソ関連	<ul style="list-style-type: none"> 2025年以降の状況は景気状況に依存し不透明 同業他社増加/代替品の台頭による競争環境激化 代替技術と比較して豊富なエビデンス・処方実績による優位性 	<ul style="list-style-type: none"> 商品ラインアップ拡充、価格戦略の見直しによるターゲットの拡大 不透明な状況下で利益確保を可能とする事業運営体制の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなレンズケア用品の開発（承認申請中） 処方家等への技術支援体制拡充により、当社商品知識・理解を醸成
ディスプレイザブルCL* ¹	<ul style="list-style-type: none"> 2024年市場は1,500百万ドル、7%成長(2021年-2027年小売市場)*² オンライン販売はコンタクトレンズ販売の7割程度 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインのコンタクトレンズ専門販売店(視客社)を活用した販売拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 今期4Qから1DAY出荷開始予定

*1 ディスプレーザブルCLとは、1DAY,2WEEK,1MONTHを指す

*2 出典：Euromonitor International,アウェア(2025年版)

対象国：中国



中長期的な需要拡大を見据え1DAY、オルソケラトロジーレンズ及びレンズケアの生産体制を増強

1DAY



シンガポール工場

製造品： Magic
販売地域：グローバル

～2026/3期上期：9-10号ライン稼働予定



各務原工場

製造品： 1DAYメニコン プレミオ
販売地域：グローバル

2024年12月：11号ライン稼働開始
2027/3期下期：12号ライン稼働予定



マレーシア工場

製造品： 1日使い捨てコンタクトレンズ
販売地域：グローバル

2026/3期下期：1号ライン稼働予定
2027/3期下期までに5号ラインまで増設予定

オルソケラトロジー関連



無錫工場

製造品： アルファオルソK
販売地域：中国

需要に応じた生産体制の増強

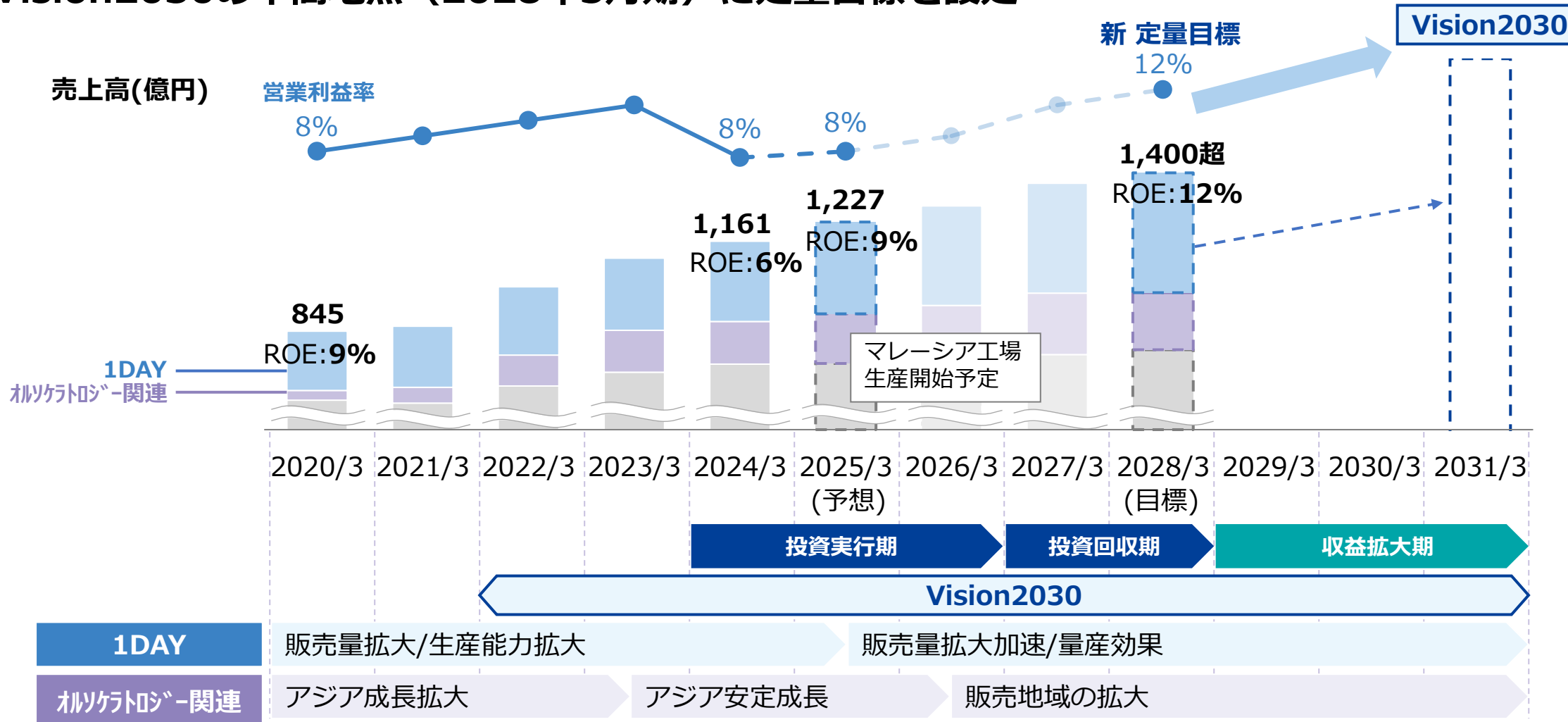


郡上工場

製造品： ハード/ソフトレンズ用レンズケア
販売地域：グローバル

オルソ関連市場の環境を考慮し、
新ライン稼働時期は要検討

Vision2030の中間地点（2028年3月期）に定量目標を設定



参考資料

売上高の内訳予想

売上高内訳予想は11月に予想を見直し

(百万円)	2025/3期 ① 5月予想	2025/3期 ② 11月予想	2025/3期 増減額②-①
売上高	122,700	122,700	-
ビジョンケア	115,100	114,100	△1,000
1DAY	32,000	31,600	△400
メルスプラン	23,400	23,000	△400
国内物販	5,100	5,500	+400
海外	3,500	3,100	△400
オルソケラトロジー関連	15,600	14,500	△1,100
その他コンタクトレンズ・レンズケア	67,500	68,000	+500
ヘルスケア・ライフケア	7,600	8,600	+1,000

(参考) 2025/3期メルスプラン売上高 : 508億円(5月予想)⇨500億円(11月予想)



2025年3月期 連結業績予想

売上原価及び販管費予想は11月に予想を見直し

(百万円)	2025/3期 ① 5月予想	2025/3期 ② 11月予想	2025/3期 増減額②-①
売上高	122,700	122,700	-
売上原価	57,500	57,800	+300
(原価率)	46.9%	47.1%	+0.2%
売上総利益	65,200	64,900	△300
販売費及び一般管理費	55,200	54,900	△300
(売上高販管費率)	45.0%	44.7%	△0.3%
営業利益	10,000	10,000	-
(売上高営業利益率)	8.1%	8.1%	-
EBITDA	20,437	19,600	△837
(EBITDAマージン)	16.7%	16.0%	△0.7%
経常利益	9,500	9,500	-
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000	7,000	-

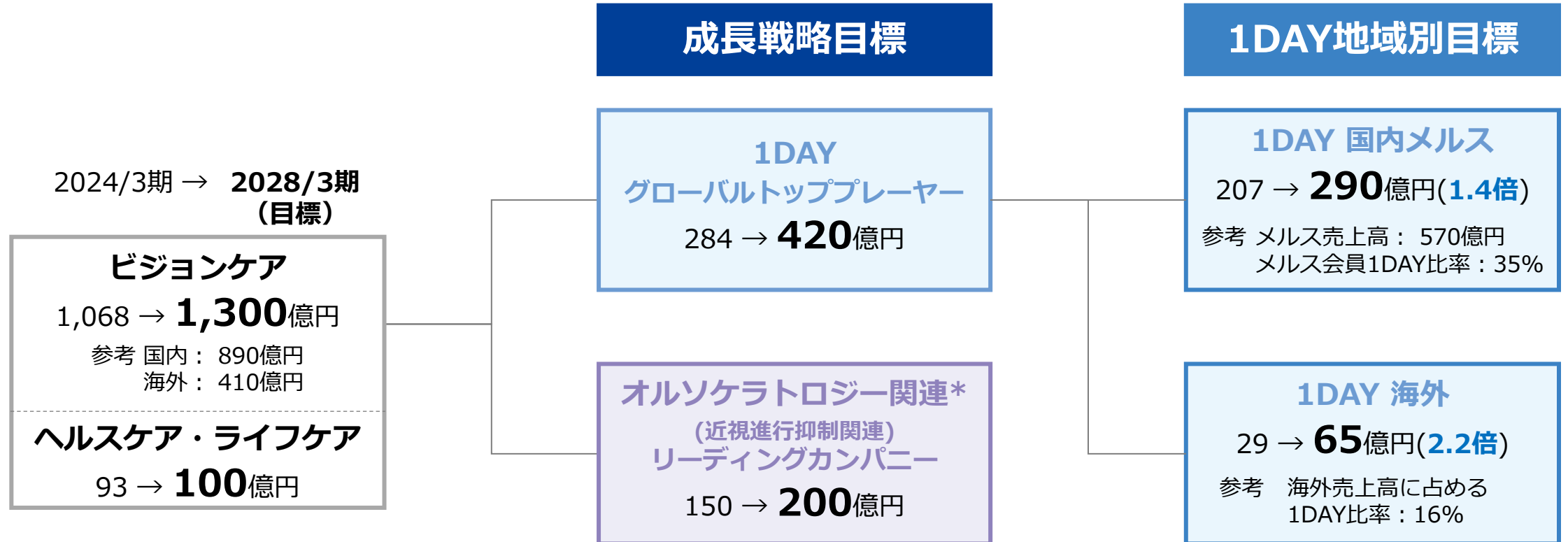
* 2024/3期における実勢レート
2025/3期(予想)における前提為替レート

EUR : 157.7円、USD : 145.3円、CNY : 19.9円
EUR : 159.0円、USD : 147.0円、CNY : 20.3円



成長戦略目標 & 1DAY地域別目標

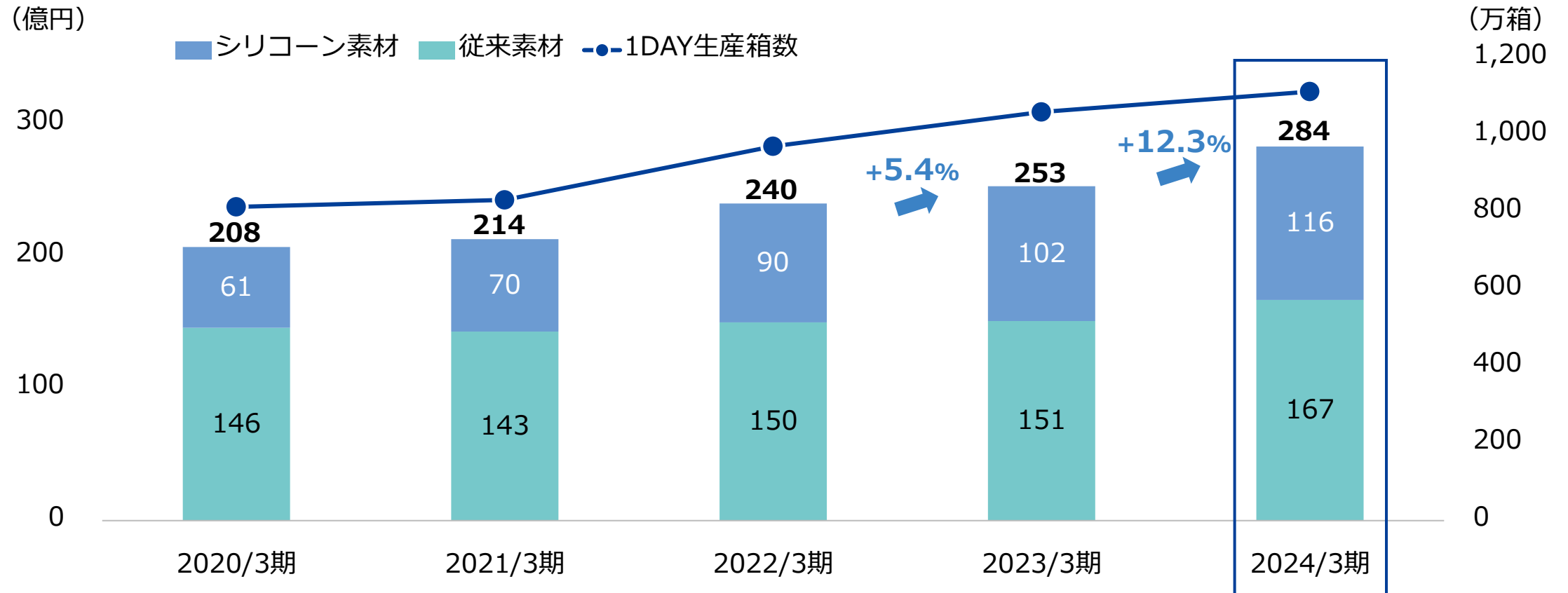
成長戦略を実現する事で目標達成を見込む



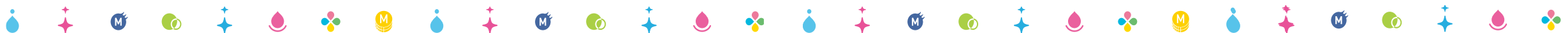
*オルソケラトロジーレンズ（グローバル）
及び レンズケア（アジア）の合計



生産能力の増強により1DAY売上高が増加



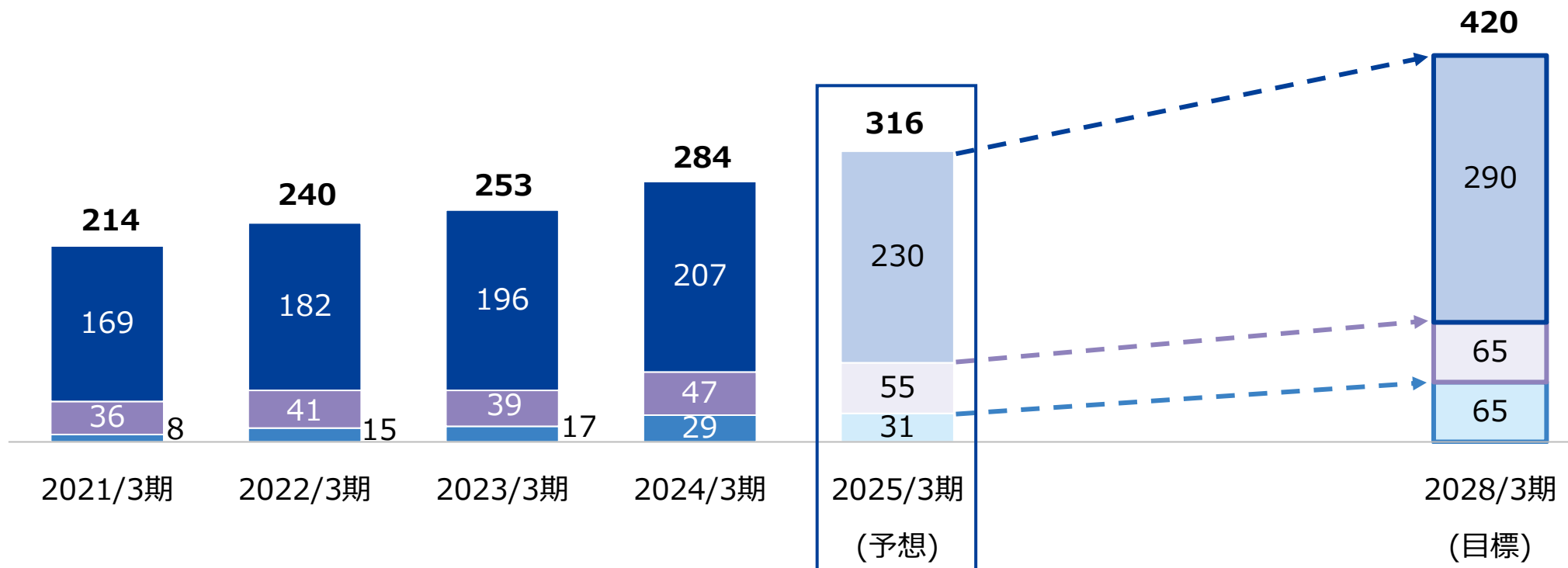
*1DAY売上高：他社からのOEM供給品を含む



1DAY売上高予想 (売上高の内訳)

生産能力増強に伴い、メルス(1DAY会員数増加)・海外(欧米中心に販売拡大)での伸長を予想

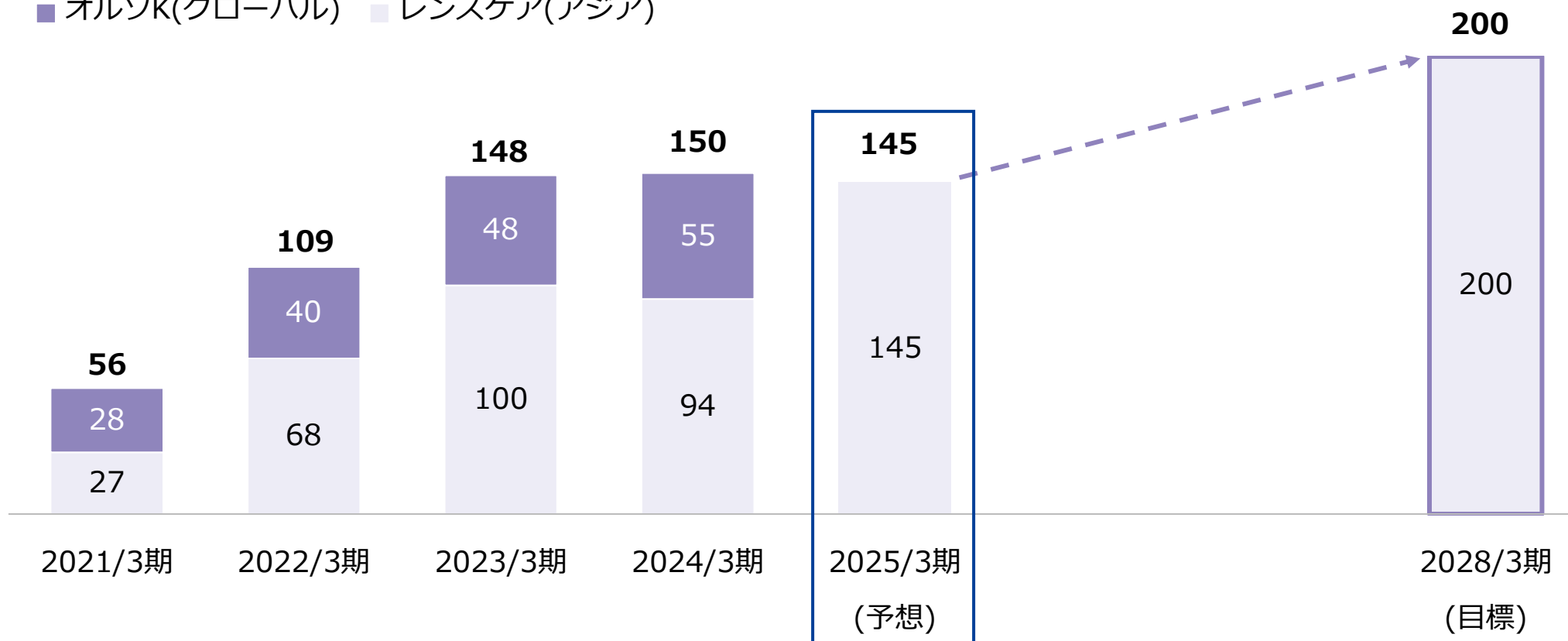
(億円) ■ 国内_メルスプラン ■ 国内_物販 ■ 海外



オルソケラトロジー関連売上高予想（売上高の内訳）

オルソケラトロジーレンズ：国内やその他地域での伸長を予想
レンズケア：中国での景気停滞影響や競争環境変化を予想

(億円) ■ オルソK(グローバル) ■ レンズケア(アジア)



サプライチェーンの強化：ロジスティクス

中長期的な需要拡大を見据え、製品数や在庫量の増加に対応したキャパシティを持ち、効率的な運営を可能とするロジスティクス体制を整備

Menicon SC GmbH

2024年3月設立

経緯 Menicon GmbHの物流センター管理運営機能を移設

対象地域 主に欧州



国内グローバルロジスティクスセンター

2024年5月開設

経緯 北日本（宮城）と小牧（愛知）のロジ機能を集約

対象地域 海外及び日本全国（主に関東以北）

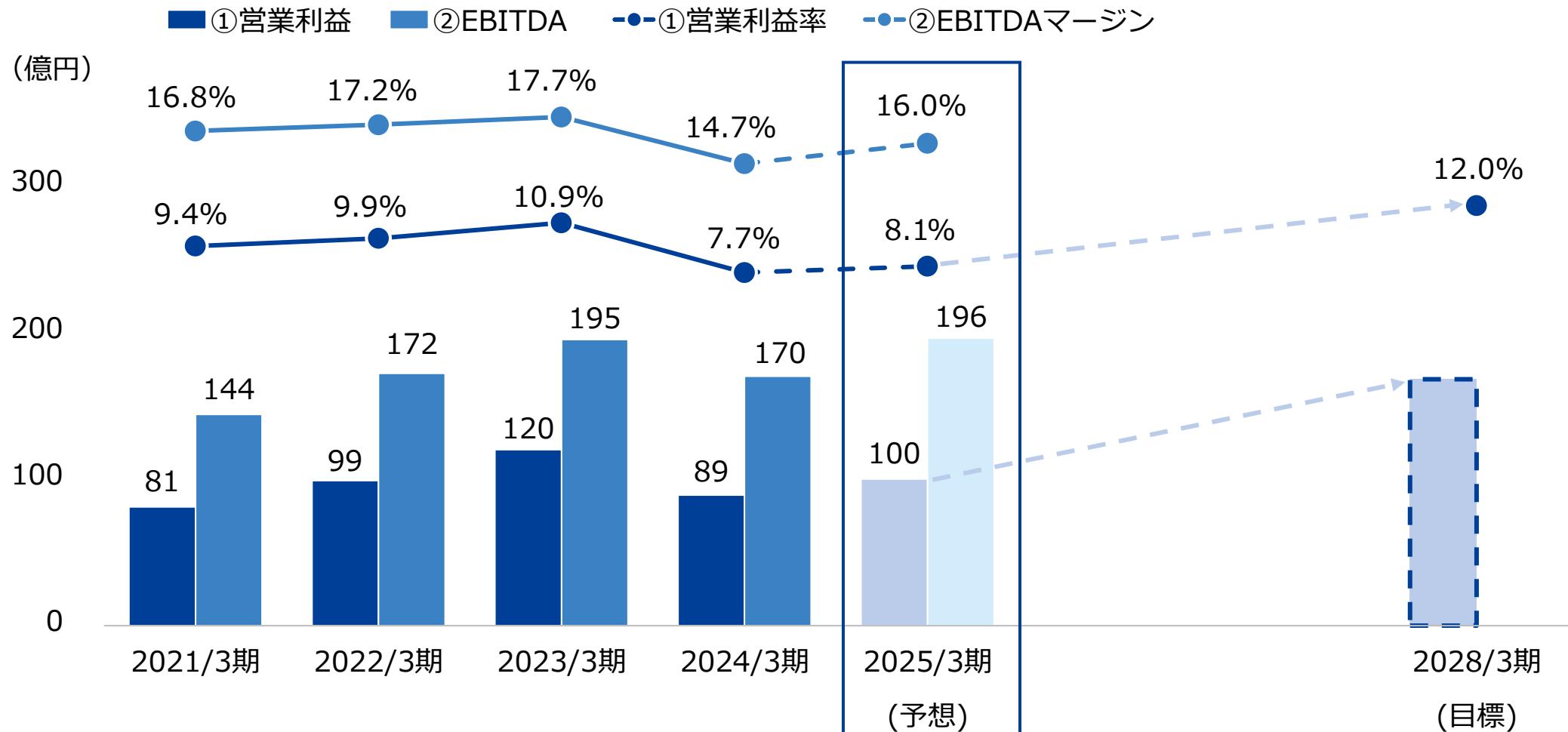


- ✓ 製品数や在庫量の増加に対応できるキャパシティ増加
- ✓ 業務の自動化・デジタル化等による省人化
- ✓ 主要な販売地域に近接し、効率的な運営を実現

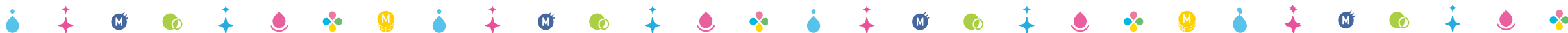
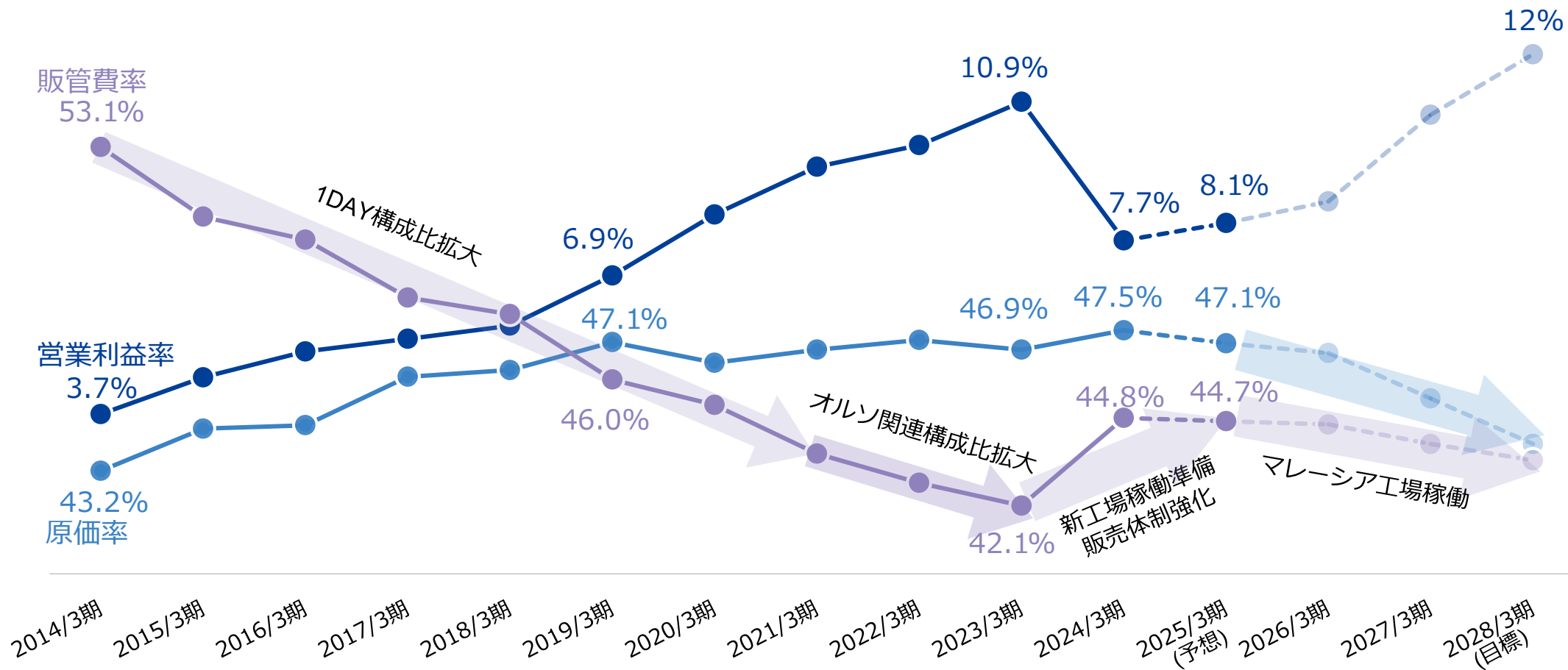


連結営業利益・EBITDA予想

投資実行による減価償却費の計上を見込むため、EBITDAは営業利益より高い伸長を予想



原価率・売上高販管費率・営業利益率推移



成長性・独自性・社会貢献の観点に基づく事業拡大を推進

生殖補助関連機器



開発・販売

- クリニック向け
- ・ 運動精子選別装置

不妊治療の保険適用を追い風として一般婦人科施設へ普及

ヘルスケア



開発・販売

- クリニック向け/EC販売等
- ・ ヘルスケア/妊活/美容
- ・ ヲリメント等

フェムテック領域の成長・販売方法多角化により売上拡大

ライフケア



開発・販売

- 農家/畜産家向け
- ・ 堆肥化促進材
- ・ 稲わら分解促進材等

環境関連ビジネスの売上拡大と環境負荷低減を両立

食品



販売

- 食品スーパー/卸業者向け
- ・ 鮮魚・米（輸出）
- ・ 乾物等（輸入）

取引量拡大により収益性を向上

動物医療



開発・販売

- 動物病院向け/EC販売等
- ・ 動物用眼内レンズ/コンタクトレンズ/手術用機器
- ・ 動物用サリメント等

新規チャネルの開拓とアジア地域での売上拡大



決算情報

- [決算説明会](#)
- [決算説明資料（毎四半期）](#)
- [データブック](#)

事業全般・戦略・非財務

- [メニコンレポート（年1回）](#)



- [中期経営計画](#)
- [会社紹介資料（随時更新）](#)

事業・文化・社会

- [インターネットラジオ（月数回）](#)



免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです
- 当資料に記載された内容は、2025年2月14日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります
- 投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません

お問合せ先

株式会社メニコン 経営企画部 財務&IRチーム

TEL : 052-935-1646

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company

